

内牧地区公民館・内牧南公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点として、住民の学習要求に即した事業を展開し、各種情報を提供する。
また、地域の団体・組織と連携して地域連帯意識の高揚と生活文化の発展を図る。

◇重点施策

- 1 住民の学習要求に応え、学習機会の充実を図るため生涯の各時期に応じた事業を実施する。
- 2 地域住民の連携と活性を図りつつ、自治意識を高めるため地域全体で取り組む事業を実施する。
- 3 自然に恵まれた特色を生かし、地域住民が喜びを感じる事業を実施する。

◇重点事業

- | | |
|---------------|------------|
| 1 家庭教育学級 | 2 趣味の講座 |
| 3 内牧地区体育祭・文化祭 | 4 内牧ふれあい講座 |

内牧地区公民館

所在地 〒344-0051 春日部市内牧4398番地

TEL 048-752-3255

FAX 048-752-3255

E-mail uchikou@city.kasukabe.lg.jp



内牧南公民館

所在地 〒344-0051 春日部市内牧1498番地

TEL 048-761-0065

FAX 048-761-0065

E-mail uchinankou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長（兼務）	島崎 勇治
	主査（兼務）	今井 健太郎
	主任（兼務）	斉藤 久美子
	主任（兼務）	吉田 英明
	嘱託（兼務）	金子 喜久江

内牧地区 1

事業名 テーマ	子育てサロン うちまきプレイルーム		対 象	未就学児と その家族		定員	なし	
ね ら い	気軽に親子で遊べるスペースとして開放し、乳幼児を抱える保護者同士のコミュニケーションの場とする。							
協力機関 及び団体	内牧地区更生保護女性会		特 色 位置づけ	子育て支援事 業、重点事業		SDGs の目 標No	3	
会 場	内牧南公民館 大会議室		教 材 資 料 等	遊具・玩具・絵本 等				
実施ま での 経 過	4月～6月まで中止 7月16日 8月実施の決定及び打合わせ 8月～12月まで実施 1月～2月まで中止 1月10日 3月4日の打合せ 3月中止の決定及び、講師へ通知		PR方法	広報かすかべ・公民館だよりに掲 載				
			受付方法	開設時間中に直接会場へ (自由参加)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月2日(木)	10:00～12:00	中止	体験			0	内牧地区更生保護女性会	
5月13日(木)	10:00～12:00	中止				0		
6月4日(木)	10:00～12:00	中止・幼教同時開催 (うちまきファミリーコンサート)				0		
7月2日(木)	10:00～12:00	中止・幼教同時開催 (皆で楽しもう、キャリーフラ)				0		
8月6日(木)	10:00～12:00	恒例！ ヨーヨーつり		4	8	12		
9月3日(木)	10:00～12:00	おもちゃ遊び、布絵本読み		0	2	2		〃
10月1日(木)	10:00～12:00	おもちゃ遊び、布絵本読み		2	2	4		〃
11月5日(木)	10:00～12:00	おもちゃ遊び、布絵本読み		0	2	2		〃
12月3日(木)	10:00～12:00	幼教同時開催 (皆で楽しもう、みかん狩り)		4	15	19		〃
1月7日(木)	10:00～12:00	おもちゃ遊び、布絵本読み		1	2	3		〃
2月4日(木)	10:00～12:00	中止	体験			0	〃	
3月4日(木)	10:00～12:00	中止				0		
6回	16時間			11	31	42		
企画運営上 の 工 夫	新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらの開催となり、定員を10組/回限定の実施とした。遊具などの除菌を徹底し、コロナ禍でより不安を抱えた中での育児でも、楽しんでもらうよう積極的に声がけし、話しやすい環境を用意して参加者を迎えた。							
成 果 参加者の 声 など	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言が発令されたため、中止せざるを得ず年6回のみの開催となった。12月の「みかん狩り」は野外活動でもあり、参加者同士の和やかな交流も見られ、とても楽しんでもらえたようだ。							
課題と展望	参加者増員は例年の課題となっている。 子どもたちが伸び伸びと成長していく為に、コロナ禍という稀にみる状況で育児に携わっている保護者の不安を軽減することが重要と考える。今年実施できなかった企画を再考し、次期は保護者を中心とした楽しめる企画を考案し、提供していきたい。							

事業名 テーマ	うちまき緑のコンサート	対象	一般	定員	なし		
ねらい	市内の文化団体が、日頃の活動の成果を発表し、地域の方々との交流を図る。 音楽環境を醸成することによって、地域の文化芸術の振興を目的とする。						
協力機関 及び団体	公民館利用団体、個人 2組	特色 位置づけ		SDGs の目 標No	11		
会場	内牧地区公民館 講堂	教材 資料等	プログラム				
実施までの経過	1～3月中 出演団体交渉・出演依頼 3月19日(木) 広報かすかべ掲載依頼 4月1日(水) 公民館だより4月号発行 4月上旬 中止決定・関係者へ連絡	PR方法	公民館だより4月号掲載				
		受付方法	申込不要・直接公民館へ				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月17日(日)	13:30～15:30	コンサート	鑑賞				①ローズマリーバンド ②ブルーリバーサイド ブラスアンサンブル
1回				0	0	0	
企画運営上の工夫	出演者のジャンルを、「ジャズバンド」、「金管楽器」とバラエティに富むように工夫するとともに、1団体の演奏時間を長めに取り、観客がじっくりと聴けるようにした。						
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止(貸館停止期間中)						
課題と展望							

内牧地区 3

事業名 テーマ	避難・炊き出し・避難所運営訓練		対 象	一般	定員	なし	
ね ら い	避難訓練と避難所運営訓練を同時に行い、地区防災会活動の支援をする。 訓練を行うことにより、より安全な生活を送ることができる。						
協力機関 及び団体	内牧一区自主防災会、防災対策課		特 色 位置づけ		SDGs の目 標No	11・17	
会 場	内牧南公民館 全体		教 材 資 料 等				
実施ま での 経 過	3月～ 交渉 5月8日(金) 地区防災会、防災対策課 及び公民館打ち合わせ		PR方法				
			受付方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
				計	計		
6月6日(土)	10:00～10:30	情報収集伝達訓練	実習				防災対策課職員
1回	0時間30分			0	0	0	
企画運営上 の 工 夫				内牧地区公民館から内牧南公民館への情報収集伝達のみ実施			
成 果 参加者の 声 など							
課題と展望		より実践的な避難所運営訓練の実施を検討していく。					

事業名 テーマ	スポーツ教室 第43回内牧地区婦人バレーボール大会	対 象	内牧地区在住 18歳以上の女性	定員	なし					
ね ら い	地区内の女性たちが、スポーツを通して交流を図る									
協力機関 及び団体	主催:内牧地区体育振興会 共催:内牧地区公民館、内牧南公民館	特 色 位置づけ		SDGs の目 標No	3					
会 場	共栄大学 体育館、内牧地区公民館 体 育室(練習会場として開放)、内牧小学 校 体育館(練習会場)	教 材 資 料 等								
実施まで の 経 過	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止 ※主催者(内牧地区体育振興会)より 中止の連絡あり。	PR方法	公民館だより6月号掲載							
		受付方法								
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名			
回 数	総時間数			男	女	合計				
				計	計					
6月21日(日)		バレーボール試合 ソフトバレーボール試合	試合				協力:共栄大学バレー ボールサークル			
1回				0	0	0				
企画運営上 の 工 夫										
成 果 参 加 者 の 声 な ど	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止									
課題と展望										

内牧地区 5

事業名 テーマ	第37回内牧地区少年少女球技大会		対 象	内牧地区の小学生		定員	200
ね ら い	地域に育つ子ども達の交流と健康増進を図る						
協力機関 及び団体	主催:内牧地区自治会連合会 主管:内牧ソフトボール連盟 後援:内牧地区体育振興会		特 色 位置づけ	地域一体となった青 少年の交流、健康増 進を図る事業		SDGs の目 標No	3
会 場	内牧小学校 校庭		教 材 資 料 等				
実施まで の 経 過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止 ※主催者(内牧地区体育振興会)より 中止の連絡あり。		PR方法	公民館だより6月 号掲載			
			受付方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
7月26日(日)		ドッジボール競技 キックベースボール競技 ※なお、内牧地区自治会 連合会と公民館の主催と しては36回目の開催であ る。	実技				審判・スコアラー等 は、内牧ソフトボー ル連盟中心の競技 役員で対応。参加 チームからも競技 役員の選出を願 いする。
1回				0	0	0	
企画運営上 の 工 夫	館報6月号への掲載のみでなく、各地区長に出席をお願いし、内牧地区全体の事業としての意識付けを行いながら実施する。						
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止						
課題と展望							

内牧地区 7

事業名 テーマ	青少年体験教室 「世界で一つしかないペーパー ウエイトを作ろう」		対 象	小学生以下 保護者参加有		定員	10名	
ね ら い	学校の授業や家庭とはちがった自由な物づくりをすることによりアイデアや想像力の向上を図る。							
協力機関 及び団体	なし		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11	
会 場	内牧地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	参加費 なし				
実施ま での経 過	7月上旬 公民館職員で話し合い 7月30日(木) 内牧小チラシ配布依頼 8月 1日(土) 公民館だより掲載 8月 7日(金) 申し込み受付開始		PR方法	公民館だより8月号掲載 内牧小学校全学年あてチラシ配布 館内にチラシ配架、メール配信				
			受付方法	直接内牧地区公民館に申込み 先着順、定員になり次第締め切り				
月日(曜)		内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回 数	総時間数			計	計			
8月19日(水)	9:30～11:30	集合・説明・実習	体験	2	7	9	公民館職員	
								
								
1回	2時間00分			2	7	9		
企画運営上 の 工 夫	コロナの影響で事業が中止となることが多く、そんな中での講師への依頼は難しいことから公民館職員だけで出来ることはないか検討した。また、広い会場で少人数とし作業スペースを広くとり参加者同士の間隔をあけるようにした。3密をふせぎ体温のチェックや消毒などを徹底しながら行った。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	3組9名の参加で1家族ごとに机を使用できたので参加者は、のびのびと自由に行っていた。2才の子も5才の子も汚すことを気にせず自由に2時間あきることなく参加できた。未就学児でもアイデアで作品作りを行っており子どもの発想の豊富さ頭の柔らかさに感心した。保護者も作品作りに積極的に取り組んでくれた。参加者からは、とても楽しかった。また参加したいとの感想をいただいた。職員と参加者のみで行う試みは初めてだが自分たちの勉強にもなり良い経験となった。							
課題と展望	今回子どもが主体の事業で保護者可とした募集だったが夏休み期間中ということもあり家族での参加となった。子供も大人も夢中になって作品作りに取り組んでいた。そのため不足する材料があった。今後開催する場合は十分な材料の確保が必要である。 また、学校でのチラシ配布やメール配信により参加があったため、募集にはメール配信が必要だと思う。今回の事業から学んだ事を生かし次年度も同様な形式の事業を行いたい。							

事業名 テーマ	青少年体験教室 内牧地区夏休み子ども納涼祭	対象	内牧地区の子ども	定員	なし	
ねらい	地域の子ども同士が交流を図り、普段なかなか体験することの無い事業を行い、夏休みの思い出づくりのひとつとする。					
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員(内牧地区)、 春日部市赤十字奉仕団内牧地区、 共栄大学ボランティア	特色 位置づけ	小学校の学年を越 えた青少年の交流 の機会	SDGs の目 標No	4・11	
会場	内牧地区公民館 講堂、研修室Ⅰ・Ⅱ 和室、実習室	教材 資料等				
実施ま での経 過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	PR方法				
		受付方法				
月日(曜)		内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
8月28日(金)			体験			
1回						
企画運営上 の工夫						
成果 参加者の 声など						
課題と展望						

事業名 テーマ	内牧ふれあい講座	対象	概ね60歳以上の方	定員	なし	
ねらい	高齢者が健康で生きがいのある楽しい人生を送るための講座開催による学習機会を作る。					
協力機関 及び団体	共催 いきいきクラブ内牧地区連合会	特色 位置づけ	高齢者同士の交流及び高齢者の健康・生きがいづくりに特化した事業	SDGs の目標No	3	
会場	内牧地区公民館 講堂及び館外	教材 資料等	レジュメ			
実施までの経過	3月13日 共催団体と第1回打合せ (金) 共催団体と第2回打合せ 4月 9日 中止決定 (木)	PR方法	公民館だより6月号掲載			
		受付方法	各クラブ会長に取りまとめを依頼 (各クラブ会員) 電話または直接申し込む(一般)			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	
7月8日(水) 第1日目	午後	開講式 講義・アトラクション 講義・自衛消防訓練 軽スポーツ体験 館外学習会 給食体験 閉講式				
7月29日(水) 第2日目	午後					
8月19日(水) 第3日目	午前					
9月9日(水) 第4日目	午前					
9月16日(水) 第5日目	午後					
5回			0	0	0	
企画運営上の工夫	今年度も全5回講座で、開催時期も前年度と同じ7～9月とした。共催団体のいきいきクラブ内牧地区連合会の役員の方とともに事業内容を検討した。 前年度の台風で公民館が避難所開設をしたこともあり、防災に関するメニューを取り入れた。					
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止					
課題と展望	共催団体の構成員数が年々少なくなっているため、団体外の高齢者にも興味を持っていただくような方策を講じる必要がある。 ※有楽会がR3.3.31で解散との連絡あり。					

事業名 テーマ	令和2年度 市民体育祭 第66回 内牧地区大会		対 象	地区住民		定員	なし
ね ら い	地域住民の健康増進・体力向上、住民相互の交流を図る。						
協力機関 及び団体	主催:春日部市・内牧地区自治会連合 会 主管:内牧地区体育振興会 後援:春日部市コミュニティ推進協議会		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	3
会 場	内牧小学校 校庭		教 材 資 料 等	競技台本、プログラム			
実施まで の 経 過	5月末 中止決定		PR方法	公民館だより8月号掲載 8月末にプログラムを全戸配布			
			受付方法	地区対抗種目の出場選手について は地区毎に取りまとめ、所定の 申込書で内牧地区公民館へ申し 込む。自由参加種目は当日招集 する			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男	女	合計	
10月11日(日)			競技				大会役員 競技役員
				0	0	0	
企画運営上 の 工 夫							
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止						
課題と展望							

内牧地区 11

事業名 テーマ	趣味の講座① フラワーアレンジメント		対 象	一般		定員	10名
ね ら い	余暇の時間の有効活用及び学習機会の提供を図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4・11
会 場	内牧地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	生花など			
実施ま での 経 過	8月中旬 講師折衝 9月17日(木) 講師依頼 10月1日(木) 公民館だより10月号掲載 10月3日(土) ポスター・チラシの掲示、配架 依頼を各施設へ 10月10日(土) 参加募集受付 10月14日(水) メール・ツイッター配信		PR方法	公民館だより「うちまぎ」10月号掲載 他公民館等にポスター・チラシ配架 ツイッター配信 公民館新着情報(ブログ)掲載			
			受付方法	10月10日(土)より直接、内牧地区 公民館へ申込む 参加費は当日徴収			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月24日(土)	10:00～12:00	フラワーアレンジメント	実習	0	7	7	(有)花勘 千葉 和枝氏
							
1回	2時間			0	7	7	
企画運営上 の 工 夫	季節の花を使ったフラワーアレンジメントを通して、参加者同士の交流を図りながら楽しく学べる講座としたい。 公民館の講座をとおして、参加者にとっての「新たな趣味の発見」ができるものとした い。 参加者の対象を「一般」とすることで、年齢や性別を問わず、参加できる講座のひとつと したい						
成 果 参加者の 声 など	参加者からのアンケートでは大変満足していただき、当事業を再び実施して欲しいとい う意見もあった。 参加人数は少ないものの、講師の指導が行き届きやすかった。						
課題と展望	コロナウイルス感染拡大防止のため、定例の事業が悉く中止になる中で、新規事業とし て開催した。 今回は10月下旬だったので、「ハロウィン」を意識した創作活動となったが、季節の花を 使用するため、継続して行う場合は、マンネリ化しないように開催時期を変更しながら実 施したい。						

事業名 テーマ	内牧地区福祉大会		対 象	地域住民		定員	なし	
ね ら い	地域の高齢者同士が互いに支えあい、活力ある地域社会づくりの担い手として活動し、社会福祉の一層の充実と発展に寄与することを目的する。							
協力機関 及び団体	共催： 春日部市いきいきクラブ内牧地区連合会		特 色 位置づけ	地域の高齢者の 日頃の活動の成 果を発表する。		SDGs の目 標No	3	
会 場	内牧地区公民館 講堂		教 材 資 料 等	プログラム				
実施ま での 経 過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※共催者(春日部市いきいきクラブ内牧地区連合会)より中止の連絡あり。		PR方法	内牧地区連合会で地域へ広報と一般参加の受付を行う				
			受付方法	開催時間中の観覧は自由				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
10月25日(日)		式典 参加者による舞台発表 (歌・民踊など)	観覧			0		
1回				0	0	0		
企画運営上 の 工 夫								
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止							
課題と展望	参加者が高齢者であり、歌(カラオケ)による飛沫拡散や会食を伴うため、リスクが大きい。 そのため、今後の開催可否を含め、現在の内容を全面的に見直す必要がある。							

内牧地区 13

事業名 テーマ	趣味の講座② 「こんな時こそ、健康体操を！」		対 象	一般		定員	15名	
ね ら い	健康体操を学ぶことで地域住民の健康増進や体力の向上を図る。また生き生きとハリのある日々を送るための、きっかけ作りの場とする。							
協力機関 及び団体	なし		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	内牧南公民館(大会議室)及び公民館 周辺		教 材 資 料 等	なし				
実施ま での 経 過	9月上旬 講師折衝・依頼 9月1日(火) 打合せ 9月中旬 ポスター掲示・チラシ配布 9月下旬 申し込み受付開始 11月1日(日) 第1回実施 11月10日(火) 第2回実施 11月15日(日) 第3回実施		PR方法	公民館だより10月号掲載、チラシ・ ポスター配布 安心安全メール配信				
			受付方法	内牧南公民館窓口又は電話にて 受付(参加費 無料)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
11月1日(日)	10:00～12:00	健康体操	実技	1	12	13	フリーフィットネスインストラクター 遠藤 倫江氏	
11月10日(火)	14:00～16:00	健康体操、野外ウォーキング	実技	0	8	8		
11月15日(日)	10:00～12:00	健康体操、野外ウォーキング	実技	0	9	9		
								
3回	6時間			1	29	30		
企画運営上 の 工 夫	コロナ禍で運動不足が気になる方に、年齢や男女別に関係なく出来る健康体操を学んでもらう。 複数回を設定し、場合によっては野外に出での活動も視野に入れて行う。 公民館だより(10月号)発行前に先行してポスター掲示、及びチラシを配布する。							
成 果 参加者 の声 など	毎回、体温測定・マスクの着用等のコロナ感染対策をした上で、内容も息の上がらない運動に配慮して実施した。野外ウォーキングは天候に恵まれ、参加者からも好評であった。「回を重ねるごとに楽しかった」「体が喜んでいました」などの声があり、心地よい汗が流せたようだ。							
課題と展望	アンケートによると、コロナ禍で運動をしなくなったとの回答が7割あり、「また参加したい」との声も多数あり、今後も体操系の事業が望まれていることがうかがえる。性別や年齢を問わず、幅広く参加しやすい事業を模索していきたい。							

事業名 テーマ	春日部市民の日記念事業 かすかべ遊学フェスティバル参加事業 令和2年度第31回内牧地区文化祭	対象	地域住民	定員	なし		
ねらい	地区内で文化的活動をしているサークル・個人の紹介と発表の場を設け、地域還元を図ると共に、多くの方に芸術や地域文化の素晴らしさを味わってもらう。						
協力機関 及び団体	主催:内牧地区自治会連合会 主管:内牧地区文化祭実行委員会 協力:内牧小学校(児童作品展示) 第2地域包括支援センター (健康チェック相談コーナー)	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No	11		
会場	内牧地区公民館 全館	教材 資料等	進行台帳、プログラム等				
実施ま での経 過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止 ※中止決定前に、前年の役員と協議	PR方法	公民館だより8月号				
		受付方法					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
11月前半の 土・日曜日 (期日決定前)							
				0	0	0	
企画運営上 の工夫							
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止						
課題と展望	公民館の貸館停止に伴い、従来から利用していた団体・個人の来館が減ってしまい、練習並びに発表の場が減ってしまった。 会場の“密”を避けつつ、何らかの形で発表する場を確保する方法を検討する。						

内牧地区 15

事業名 テーマ	パパママの子育て学級 (幼児家庭教育学級)		対 象	3歳前後の幼児と 保護者		定員	第1回:中止 第2回:中止 第3回:10組
ね ら い	子どもたちの健やかな成長を願い、人間形成の上で最も重要な時期である幼児期の発達段階を正しく理解し、望ましい親子関係や家庭環境、健康生活について学ぶ。同世代の子どもを持つ親同士で交流することで、パパママ同士の繋がりを生み出す。						
協力機関 及び団体	内牧地区更生保護女性会		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目標 No	3
会 場	第1回、第2回:中止 第3回:大塚果樹園		教 材 資 料 等	第1回:中止 第2回:中止 第3回:なし			
実施ま での 経 過	4月2日	第1回中止決定	PR方法	(1)子育てサロン「うちまきプレイ ルーム」参加者にチラシ配布 (2)公民館だより10月号掲載 (3)館内、他公民館にポスター ・チラシ配架			
	6月12日	第2回中止決定					
	9月5日	第3回電話にて確認					
	10月1日	第3回再確認					
	11月7日	第3回依頼文持参					
	12月2日	第3回確認に行く					
	12月3日	実施	受付方法	第1回、第2回:中止第3回:11月5 日(木)より電話か直接申込。 参加費(350円)を当日支払い。			
	12月上旬	お礼状					
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回 数	総時間数			計	計		
6月4日(木)	10:30～11:30	「うちまきファミリーコンサート」 オカリナ演奏 「みんなでたのしもうキャリーフラ」 「みんなでたのしもう！ みかん狩り」	鑑賞				奏志朗氏
中止							
7月2日(木)	10:30～11:30		体験				ゆりダンススクール
中止							由利 明美氏
12月3日(木)	10:00～11:30		体験	4	15	19	大塚果樹園
3回	3時間			4	15	19	
企画運営上 の 工 夫	毎年体験型のものが人気があるので今年度は今まで未実施のフラダンスをとりいれた。また、公民館の成人向けの事業でも人気があるオカリナ演奏をとりいれ、幼児以外の参加を可とし世代交流をはかろうと考えた。第3回目は、毎回大変好評をいただいている地区内の果樹園でのみかん狩りとした。						
成 果 参 加 者 の 声 な ど	第1回目、第2回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止から中止とした。第3回目の館外学習は、申込み開始時より人気があった。当日はあいにく曇り空だったが参加者はみな、とても楽しく過ごせたようだ。また、参加したい大満足との感想をいただいた。						
課題と展望	最近の傾向として講座よりも体を動かしたり楽しんだりする企画が人気だ。今まで実施したことのない事や子育て中の親が気分転換になるような事を企画したい。みかん狩りは例年の企画となっているが内牧地区ならではの事業なので今後も続けたい企画である。次年度はコロナの感染予防対策を考えながら是非3回実施したい。						

事業名 テーマ	教養講座① やさしい俳句教室		対 象	成人一般		定員	12名	
ね ら い	余暇の時間を利用して、住民の教養を向上させる機会を提供する。							
協力機関 及び団体	花野俳句会		特 色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4・11	
会 場	内牧南公民館 大会議室 内牧公園		教 材 資 料 等	テキスト「俳句とは」、「やさしい俳句 教室」、短冊、互選用紙等				
実施ま での 経 過	9月 9日(水) 第1回講師と打ち合わせ 9月15日(火) 講師依頼文発送 9月18日(金) 広報かすかべ11月号掲載依頼 10月 1日(木) 公民館だより10月号発行 11月 1日(日) 広報かすかべ11月号発行 11月 5日(木) 参加申込み開始 12月 3日(木) 第2回講師と打ち合わせ 内牧公園下見 12月 4日(金) 参加申し込み締め切り 前日準備		PR方法	公民館だより10月号、広報かすか べ11月号掲載、安心安全メール、 ポスター掲示				
			受付方法	11/5(木)～12/4(金)に電話また は窓口で申込み(先着順)				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
①12月 5日(土)	13:30～16:00	俳句についての基礎学習、吟行 句会	講義・散策	3	8	11	磯谷 健治 氏 (生涯学習市民推進員)	
②12月19日(土)	13:30～15:30		演習	3	7	10		
2回	4時間30分				6	15		
企画運営上 の 工 夫	昨年度に引き続き、地区内の生涯学習市民推進員に講師を依頼し、進め方について は、初日は吟行と講義形式、2日目は句会形式で実施した。今回も公民館利用サーク ルである「花野俳句会」に運営協力をいただいた。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	受講者の皆さんも初心者にもかかわらず複数の句を作ってくられ、白熱する句会と なった。参加者の中には、花野俳句会への加入希望される方もいた。							
課題と展望	今回、初めて、内牧南公民館に会場を移して行った。 吟行は、屋外での活動となるため、天候に左右されるのはやむを得ないと思われる。 また、作品のコピーを取るために、担当者を複数にしなければならないため、1日目と 2日目での会場変更について、検討の余地がある。							

内牧地区 17

事業名 テーマ	公民館利用者のつどい		対 象	公民館利用団体 代表者及びサー クル会員		定員	なし
ね ら い	公民館利用者相互の交流を図り、公民館活動の活性化を図るとともに、公民館利用の 基本事項の確認等で利用の適正化を促す。併せて、人権意識の啓発及び防災意識の 向上を図る。						
協力機関 及び団体	春日部市消防本部		特 色 位置づけ			SDGs の目標 No	4・11
会 場	内牧南公民館 内牧地区公民館		教 材 資 料 等	公民館利用者のつどい 自衛消防訓練 シナリオ 人権DVD「光射す空へ」			
実施まで の 経 過	11月下旬 人権研修DVD予約 12月1日(火) 公民館だより12月号発行 12月4日(金) 提出書類配布開始 12月8日(火) 消防本部あて訓練通知・ 物品借用依頼持参 1月 7日(木) 中止決定 利用者へ周知 DVDキャンセル 1月15日(金) 水消火器借用		PR方法	公民館だより12月号掲載 窓口にて通知配布			
			受付方法	当日、窓口にて			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
1月16日(土) 内牧南公民館	10:30～12:00	自衛消防訓練 避難所開設訓練	訓練 訓練	3	4	7	公民館職員 (臨時職員含む)
内牧地区公民館	15:00～16:30	自衛消防訓練 避難所開設訓練 	訓練 訓練	7	1	8	公民館職員 (シルバー含む)
2回	3時間			10	5	15	
企画運営上 の 工 夫	コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者のつどい及び人権研修は中止とした。 自衛消防訓練を実施し、避難所開設訓練も併せて実施した。 開催通知は来館日に手渡しとし、郵送した団体も例年用紙の未提出が多いことから精 査することとした。						
成 果 参加者の 声 など	避難者の受付方法や簡易ベッドの組み立て方などを確認していただき、避難所として 機能する公民館の構造を把握していただくことにより災害時の避難所運営に備えること ができる。						
課題と展望	今回は午前には内牧南公民館、午後内牧地区公民館と2会場に分けての実施の予定 だった。 都合の良い方へ参加できることから参加者数を増やせ、また”密”を避けることもできる。						

事業名 テーマ	小学生期家庭教育学級	対象	小学生の保護者 及び一般	定員	20名		
ねらい	小学生期における家庭教育の重要性を認識し、親として望ましいあり方について学ぶ。						
協力機関 及び団体	共催:内牧小学校PTA 協力:内牧地区更生保護女性会	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目標 No	3・17		
会場	内牧地区公民館 実習室 和室(託児室として)	教材 資料等					
実施までの経過	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止 ※内牧小学校PTAより連絡あり	PR方法					
		受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月12日(金)							
1回				0	0	0	
企画運営上の工夫							
成果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止						
課題と展望							

内牧地区 19

事業名 テーマ	趣味の講座③ 免疫力をつける自彊術にトライ！		対 象	成人一般		定員	15名
ね ら い	コロナ禍で、特にこの冬のに体調を崩しがちな方や運動不足が気になる方に、年齢や男女別に関係なく出来る免疫力アップにつながる自彊術を学んでもらう。						
協力機関 及び団体	Jikyoクラブ(当館利用サークル)のメンバー		特 色 位置づけ			SDGs の目標 No	4・11
会 場	内牧南公民館 大会議室		教 材 資 料 等				
実施ま での 経 過	10月20日 講師折衝・打合せ① 12月1日 打合せ② 12月8日 講師依頼書受渡し 1月28日 ポスター掲示、チラシ配布 2月9日 参加受付開始 2月16日 中止決定のお知らせ(講師他)		PR方法	公民館だより2月号掲載 他公民館にチラシ・ポスター依頼 館内ポスター掲示			
			受付方法				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
3月2日(火)	10:00～12:00	自彊術の指導 中止	実技				Jikyoクラブ講師
企画運営上 の 工 夫	コロナ禍で安心してできる事業にするため、大会議室が使用できるよう他サークルに協力をお願いした。自彊術をより理解していただくため、解説を丁寧にゆっくりと指導していただき、サークルのメンバーにもサポートをお願いした。 公民館だより(2月号)発行前に先行してポスター掲示、及びチラシを配布する。						
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により、事業中止						
課題と展望							



事業名 テーマ	うちまき南 遊楽座 ～将棋～		対 象	一般		定員	なし
ね ら い	月1回開放日とし、おとなが気軽に学び、楽しむことのできる場とする。また出会いの場を提供することにより、共感、共通の興味を持った方の公民館活動へのきっかけを図る。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目標 No	4・11
会 場	内牧南公民館 講習室		教 材 資 料 等	将棋			
実施までの経過	5月 事業計画提出		PR方法	公民館だより掲載 館内ポスター・チラシ			
			受付方法	開催時間中に自由参加			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月 8日(水)	9:00～12:00	中止	実技 〃 〃 〃 〃			0	
5月13日(水)	9:00～12:00	中止				0	
6月10日(水)	9:00～12:00	中止				0	
7月8日(水)	9:00～12:00	中止				0	
8月12日(水)	9:00～12:00	将棋		7	0	7	
9月 9日(水)	9:00～12:00	将棋		4	0	4	
10月14日(水)	9:00～12:00	将棋		7	0	7	
11月11日(水)	9:00～12:00	将棋		4	0	4	
12月 9日(水)	9:00～12:00	将棋		6	0	6	
1月 13日(水)	9:00～12:00	中止				0	
2月10日(水)	9:00～12:00	中止				0	
3月10日(水)	9:00～12:00	中止				0	
5回	15時間				28	0	
企画運営上の工夫	空き室の有効活用。個人でも気軽に利用できる場を提供。 趣味、仲間づくりのきっかけを提案。サークル設立を念頭。 コロナ対策として、用具の除菌、フェイスシールドの着用を徹底した。						
成果 参加者の声など	昨年度サークル化が実現し、本事業と並行して順調に活動が行われていた。常連者同士での和やかな交流が見られ、コロナ禍で中止となるものの、再開を望む声が多く聞かれた。再開にあたっては、参加者の多くが高齢者にあたるので感染防止対策を徹底し、楽しんでもらえた。						
課題と展望	サークル化が実現し、参加者の高齢化に伴い、参加者の増員を積極的に図りたい。						

内牧地区 21

事業名 テーマ	教養講座② うちまき歴史探訪ツアー「塚内古墳群のある集落を訪ねて」～迅速測図を読み解きながら～		対 象	一般		定員	20名
ね ら い	地域住民に内牧の史跡を紹介し、郷土愛を深めてもらうとともに、歴史を学ぶことで教養の向上を図る。また、地域住民以外の方にも参加していただき、内牧の魅力をPRする。						
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目標 No	4・11
会 場	内牧地区内 (雨天時)内牧南公民館大会議室		教 材 資 料 等	しおり(配布)、壁新聞(館内掲示)			
実施までの経過	11月18日(水) 打ち合わせ 11月27日(金) 講師依頼 12月10日(木) 現地踏査(講師と) 2月12日(金) 拝観依頼配布 3月5日(金) 事業中止決定 3月6日(土) 事業中止の通知配布		PR方法	公民館だより2月号掲載、安心安全メール配信、他公民館にチラシ配架			
			受付方法	内牧地区公民館の窓口又は電話で受付 2/18(木)から			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
3月11日(木)	13:00～15:40	塚内古墳群ある集落を歩いて迅速測図から読み取れる歴史について学ぶ。 内牧南公民館(13:00集合) →藤盛稲荷社→王千寺 →6号墳(N家邸内)→3号墳(I家邸内) →4号墳(U家邸内)→庶民信仰 →迅速測図に見る茶畑 →旧観音院→I家江戸時代後期の家 →9号墳(O家邸内) 内牧南民館 (15:40帰館・15:40解散)	散策 見学	0	0	0	内牧フォークロア 高橋 昌子 氏
1回	2時間40分			0	0	0	
企画運営上の工夫	事前に講師と打ち合わせや現地踏査を重ね、交通量が多いところの確認を行い、参加者の安全や健康面を第一に考えたルートを設定した。開催日を平日に設定した。また、現地拝観依頼先の方々と話しをして見どころや散策に適した場所のコースを教えた。参加者が事業終了後も学びを継続できる資料として残せる「しおり」として探訪する史跡の解説文とガイドマップを作成し、当日参加者に配布した。拡声器を用意し講師の説明が聞き取りやすいようにした。						
成 果 参加者の声など	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により、事業中止						
課題と展望	2年連続で中止となってしまったが、参加申込者も定員近くあったので、状況が許せば同企画で次年度に実施したい。						

事業名	公民館だより「うちまき」発行		対象	内牧地区内世帯		定員	約4,700部	
ねらい	公民館事業のPRや事業報告、地区内社会教育団体の活動PR、地域情報などを地域住民に提供する。							
協力機関及び団体	内牧地区自治会連合会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目標 No	4・11	
会場			教材 資料等					
実施までの経過	発行月の前月中旬に原稿作成・印刷 広報かすかべと隔月同日配布 (偶数月1日発行)		PR方法					
			受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
偶数月1回 特別号2回		主催事業等の情報提供 特別号の作成 体育祭・文化祭→配布なし 内牧地区内 約4,700部を配布					公民館職員で作成	
8回				0	0	0		
企画運営上の工夫	昨年度に引き続き2色刷りプリントで印刷を行い、インク代と紙代のコスト削減を行った。内牧南公民館では新規事業も実施したので、その広報を見やすくできるよう工夫した。また、既存の事業や地域情報、事業報告もできるだけ見やすい紙面になるよう文字だけでなく、写真や絵などを入れレイアウトを考えた。							
成果参加者の声など	公民館事業開催の情報だけでなく、地域で実施した催しが取材できた場合はその様子も掲載しているので、興味をもって見ていただけている方が多い。							
課題と展望	2か月に1回の発行であるため、特に新規事業を掲載する場合は、いつが良いのかをよく検討する必要がある。							

